

平成23年度

石手川ダム水源地域ビジョン

活 動 報 告 書

石手川ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会

1. 会議等 開催状況

(1) 会議

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| ○平成 23 年 6 月 9 日 | 推進委員会 | 出席委員 10 名 |
| ○ 同 日 | 連絡協議会 | 出席委員 24 名 |
| | ・ 第 1 回地域づくり部会 | |
| | ・ 第 1 回環境づくり部会 | |
| ○平成 23 年 12 月 9 日 | 第 2 回地域づくり部会 | 出席委員 9 名 |
| ○平成 24 年 2 月 2 日 | 第 2 回環境づくり部会 | 出席委員 12 名 |

(2) 実施事業

- | | | |
|--------------------|----------------|-----------|
| ○平成 23 年 7 月 10 日 | オオムラサキを自然にかえそう | 参加者 75 名 |
| ○平成 23 年 7 月 29 日 | 自然と遊ぼう DAY! | 参加者 104 名 |
| ○平成 23 年 11 月 26 日 | 自然観察会&ダム見学会 | 参加者 39 名 |
| ○平成 24 年 2 月 11 日 | 竹を使おう DAY! | 参加者 30 名 |
| ○平成 24 年 2 月 24 日 | 留学生友好の森づくり | 参加者 128 名 |
| ○平成 24 年 2 月 25 日 | オオムラサキの幼虫を探そう | 参加者 79 名 |

参加者合計 455 名

2. 検討内容

◎ 平成23年6月9日 推進委員会での協議

大枠の方向性は以下のとおり。

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

○将来的な課題として、引き続き研究する。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

○獣害対策を検討のうえ、継続実施する。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

○引き続き「水農里会」と連携を図りながら、「自然農による体験学習」事業を実施する。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

○開催する時期や回数等、内容の拡充を十分に検討のうえ、継続実施する。

以上のような方向性で、詳細の検討や事業の実施は連絡協議会に一任する。
また、予算についてもこれまでどおりであるが、国等で実施している各種助成制度の活用については事務局へ一任する。

◎ 平成 23 年 6 月 9 日 連絡協議会での協議

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）
 - 竹チップの肥料効果や雑草抑制効果、また、竹炭の浄化効果等について、引き続き情報収集を行う。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）
 - 今年度も事業を実施する。
 - ・実施にあたっては、特に子どもの安全面に配慮する。また、前回と同様に補植作業を中心に行う。
 - ・獣害対策については、市がネットを張ることとする。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）
 - 水農里会の活動を引き続き支援していくことで、遊休農地の有効活用を図る。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）
 - 例年通り、「自然と遊ぼう DAY！」と石手川ダムでの自然観察会及び、オオムラサキの里づくりを継続して実施する。

5. 不法投棄防止対策について（環境づくり部会）
 - 引き続き啓発活動を実施する。また、必要に応じて新たな具体的対策について検討する。

◎ 平成 23 年 12 月 9 日 地域づくり部会での協議

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について
 - 「竹を使おう DAY！」を実施する。
 - ・22 年度に実施した「竹を使おう DAY！」を今年度も実施。
 - ・日程や実施場所、準備物、人数等の検討。

2. 留学生友好の森づくり事業について
 - 日浦小中学校の「日浦夢桜の森づくり」と協同で開催する。

- ・昨年と同じ場所で補植作業を中心に、安全対策に十分配慮して実施する。
- ・獣害対策用のネット張りを市がイベント実施日までに行う。
- ・交流会の内容について検討する。

3. 水農里会の活動報告について

◎ 平成24年2月2日 環境づくり部会での協議

1. 「自然と遊ぼう DAY！」の報告
2. 自然観察会&ダム見学の報告
3. 「オオムラサキの里づくり」の活動紹介
 - ・オオムラサキを自然にかえす会の報告
 - ・オオムラサキの幼虫を探そうの周知
4. 放置竹林対策や竹の有効活用について
 - ・昨年行った竹炭作りを、地域づくり部会と連携して行う。
5. ごみの不法投棄について
 - ・設置看板の効果も一定見られることから、引き続き、状況をみながら検討していく。
6. その他
 - ・日浦ホタル保存会の活動報告
 - ・「秋の虫を聞く会」の検討